

綾瀬の歴史 すごろく

私たちが暮らしている
綾瀬の歴史を
楽しく学ぼう!

スタート

原始・古代

綾瀬の始まり

後期旧石器時代 約4万年前

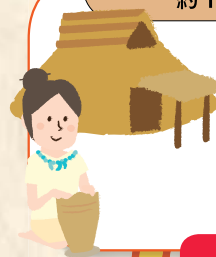
狩りをしながらキャンプ生活



(写真：神奈川県教育委員会蔵)

縄文時代早期 約1万年前

小さな集落を作り、
竪穴住居で生活



1マス進む

縄文時代後期 約4000年前

神様を信じて、
まつりごとをする
ようになる



縄文時代後期の後半から 弥生時代中期まで

綾瀬市内からは人の痕跡が
まったく途絶える

1回休み

1923(大正12)年

関東大震災

1回休み

現代

戦争・復興と発展

昭和初期

農家の大半が、副業に養蚕ようさんをしていた。甘藷「高座赤」、スイカ、トマトの生産拡大。高座豚の生産が綾瀬村の名を高めた



(写真：大和市 小柳和夫氏蔵)

1941(昭和16)年

厚木飛行場の建設開始

1945(昭和20)年
4月1日

綾瀬町誕生
空襲が激しい中での町制施行

2マス進む

1945(昭和20)年
8月30日

マッカーサー降り立つ
連合国軍最高司令官マッカーサーが
厚木飛行場に降り立つ



(写真：マッカーサー記念館蔵/写真提供：茅ヶ崎市市史編さん担当)

1946(昭和21)年

学校給食スタート

弥生時代後期 2世紀ごろ

集落の周囲に溝を巡らせた
環濠集落かんわしゅうらくが出現(神崎遺跡)



大正時代

スポーツやサークル活動が活発に

1981(昭和56)年

市立図書館完成

2回
休み

1979(昭和54)年

「綾瀬市民の歌」制定

ここに
止まったら!
綾瀬市民の
歌を歌う

1978(昭和53)年

第1回市民まつり開催



1978(昭和53)年
11月1日

綾瀬市誕生

サイコロを
ふって出た
数だけ進む

ラッキー

1972(昭和47)年

綾瀬工業団地建設

1968(昭和43)年

東名高速道路東京-厚木間開通

1950(昭和25)年

米海軍厚木航空基地が置かれる



(写真：米海軍厚木航空基地渉外部蔵)

701(大宝元)年
以降

高座郡こうざぐんの誕生

※綾瀬地域の大半は相模国高倉郡さかみくにたかくらぐんに含まれた。その後、「倉」の文字は、縁起の良いとされる「座」の文字に変更され、高座郡になったと思われる

2マス進む

ラッキー

サイコロを
ふって出た
数だけ進む